

平成8年5月31日

JR九州の特急「ソニックにちりん」

《'96ブルーリボン賞》受賞!!

毎年、鉄道友の会（会長 八十島義之助氏、会員 約5,500名）において選定される“ブルーリボン賞”にJR九州の883系特急「ソニックにちりん」が選ばれました。

平成7年4月デビューのこの車両は、銀色に輝くステンレスボディにセルリアンブルーの先頭部が特徴の新型特急です。足まわりにはJR九州の車両としては初の、カーブ通過時に傾斜にあわせて車体を傾ける制御付自然振り子システムを採用し、カーブ通過時のスピードアップと乗り心地の大幅な向上を実現しました。また車内は、移動の時間そのものが旅の大きな楽しみになるように、「ゆとり」「楽しさ」「優しさ」を大切に設計されています。それはまるで“ワンダーランド・エクスプレス”の愛称にふさわしい楽しい列車で、お客さまから大変好評をいただいています。

☆883系概要

ワンダーランド・エクスプレス883。人の心を豊かにするモダンをテーマに、編成を閉ざされた箱の連結ではなく全体をアミューズメントパークに。「ゆとり」「楽しさ」「優しさ」、そして「遊び心」を満喫していただけます。

3次曲面を採用した先頭形状、客室は曲線を多様するとともにガラスを使って明るく滑らかなラインで構成されています。ハットラック式の荷物棚、収納式の帽子掛け等、突起物を廃したすっきりした仕上げ。室内の調度品もオリジナルを採用し、車両全体での調和を意図しました。

現在博多～大分間を1日9往復走り、最速2時間9分で結びます。

また、現在の所有両数は5編成35両で、全て大分電車区の所属です。1次車から3次車まであり、微妙に表情が異なります。

☆JR九州の受賞車両

・ブルーリボン賞	1996年 「ソニックにちりん」（883系特急電車）
	1993年 「つばめ型」車両（787系特急電車）
・ローレル賞	1992年 赤い快速（キハ200形気動車）
	1989年 ハイパーサルーン（783系特急電車）
・グッドデザイン商品選定	1995年 「ソニックにちりん」（883系特急電車）
	1993年 「つばめ型」車両（787系特急電車）
	1989年 ゆふいんの森（キハ70形気動車）
・ブルネル賞（長距離旅客列車部門）	1994年 「つばめ型」車両（787系特急電車）

◆参考

◇「ブルーリボン賞」・「ローレル賞」等について

- ・「ブルーリボン賞」、「ローレル賞」は共に年1回鉄道友の会により選定されます。
「ブルーリボン賞」は、趣味的見地及び利用者側の見地の両面から最優秀と認められた鉄道車両に対して授与されます。選定は、正会員の投票によって行われます。
- ・「ローレル賞」は、趣味的見地及び利用者側の見地の両面から見て、車両性能、デザイン（外形、室内）、製造企画、及び運用面などの諸点に卓越したものが認められた鉄道車両に対して授与されます。選定は我が国の車両として真に特色があると認められる車両について選考委員会により行われます。
- ・「グッドデザイン商品」は、毎年通商産業省により選定されます。この制度は、「デザインの優れた商品を選定、推奨することにより、国民生活の質的向上と産業の振興を図ること」を目的として昭和32年に創設されました。外観、機能、品質、安全性、その他を基準に選定されます。
- ・「ブルネル賞」は、鉄道デザインの国際競技です。その目的は鉄道のあらゆる分野の美学的特性や優良デザインを促進、奨励していくことにあります。そうして評価することにより、鉄道事業に対する国民の認識を向上させることも狙っています。このような競技会は外に例がなく、各国の鉄道が交流する良い機会であり、一般にも展覧会の形で公開されています。

WONDERLAND EXPRESS
SONIC 883

